

慶應義塾 医学部新聞 編集室 三田会 160-8582 東京都新宿区信濃町35 電話(3353)1211 内線64996 三田会に購読料を比合能 毎月1回20日発行

信濃町駅前・各種診療 慶應義塾大学病院 診療時間(午前9時~午後11時) 電話(3353)1211(代表)

# 第16回 慶應医学賞決定

## 生命科学・医学の分野で 成果を挙げる2人の研究者に

慶應医学賞は、世界の者に対し授与して... 第16回目を迎えた本年の慶應医学賞受賞者は田中啓二博士(財団法人東京大学総合研究所)と Philip A. Beachy博士(スタンフォード大学)です。

### 田中啓二博士

財団法人東京大学総合研究所 所長

生命科学の分野で、細胞の分化と発生に関する研究で世界的な成果を挙げ、博士の業績は極めて広範な領域の細胞生物学・発生生物学に及ぼるものと認められ、その功績をたたえ、慶應医学賞を受賞しました。

### Philip A. Beachy博士

スタンフォード大学教授 ハワード・ヒューズ・メディカル・インスティテュート研究員

発生生物学の分野で、細胞の分化と発生に関する研究で世界的な成果を挙げ、博士の業績は極めて広範な領域の細胞生物学・発生生物学に及ぼるものと認められ、その功績をたたえ、慶應医学賞を受賞しました。

## 災害医療援助

### 平塚市民病院副院長 持丸文雄(産婦52回)

筆者は4月1日に石巻市を訪問、視察する機会を得た。その視察を振り返る。このたびの災害は地震に続き、津波が襲った。被災地は、死に行方不明の者が多く、津波が襲った。被災地は、死に行方不明の者が多く、津波が襲った。被災地は、死に行方不明の者が多く、津波が襲った。

## 2011年慶應連合三田大会開催

### 10月16日(日) 於：日吉キャンパス

本年10月16日(日)の2011年慶應連合三田大会(日吉キャンパス)において、昨年に引き続き三田会が講演会を主催致します。今年度のサポーターである「社中の絆」で東日本を応援しようのテーマで、講演会では医療支援を続ける医学部および三田会、復興政策を推進する首長、復活を目指す事業主、それぞれの立場から被災地の現状および復興について語っていただき、三田会と被災地の絆を深め、未来へ続く復興支援を考えます。

## 平成23年9月より 慶應病院神経内科に はり治療外来開設!

慶應義塾大学医学部、病院は以前から東洋医学の普及に力を注いでおり、平成18年慶應義塾大学、医学部東洋医学センターに講義が設立され、同センターがはり治療外来を開設しました。このセンターは、鍼灸治療の普及に力を注いでおり、平成18年慶應義塾大学、医学部東洋医学センターに講義が設立され、同センターがはり治療外来を開設しました。

## 篠崎 英夫君(48回) 日本公衆衛生協会 理事長に就任

このたびは篠崎英夫君(48回)が財団法人日本公衆衛生協会理事長に就任しました。篠崎君は、日本公衆衛生協会の発展に大きな役割を果たしてこられました。

## 慶應義塾大学 月が瀬リハビリテーションセンターの閉院について

伊豆の修善寺にある月が瀬リハビリテーションセンターの閉院についてお知らせいたします。当センターの治室は、先づ、昭和16年に熟員の福



平成23年9月7日の「病院継承に関する基本合意書 調印式」における清家塾長と切東氏

月が瀬リハビリテーションセンターの閉院について、戸山芳昭(整54回)が代表して挨拶しました。閉院後は、月が瀬リハビリテーションセンターの施設を、静岡県から代替地として現在の場所(8455)に移転させ、平成24年3月31日に閉院いたします。

## 災害医療援助

仙台中区内(石巻まで)の自動車専用道路は、ボランティアの協力により、被災地へ物資を運ぶのに役立ちました。また、被災地へ物資を運ぶのに役立ちました。

## 2011年慶應連合三田大会開催

協力を頂いた現地関係者の皆様へ、改めて感謝申し上げます。本大会は、被災地を応援しようのテーマで、講演会では医療支援を続ける医学部および三田会、復興政策を推進する首長、復活を目指す事業主、それぞれの立場から被災地の現状および復興について語っていただき、三田会と被災地の絆を深め、未来へ続く復興支援を考えます。

## 医学部同窓会(三四会)講演会

### (当番 1981年医学部卒業生) 11:15~12:15 独立館 DB203教室

演題：三色旗のもとに希望の明星を東北の空へ ~医学部三四会と被災地の絆~

講演者：医学部長 末松 誠、救急医学准教授 藤島清太郎、福島県郡山市市長 原 正夫、浦霞酒造社長 佐浦弘一、司会：テレビ朝日アナウンサー 小川彩佳

江戶時代には、お通路の発展に大きな役割を果たしてこられました。お通路は、被災地を応援しようのテーマで、講演会では医療支援を続ける医学部および三田会、復興政策を推進する首長、復活を目指す事業主、それぞれの立場から被災地の現状および復興について語っていただき、三田会と被災地の絆を深め、未来へ続く復興支援を考えます。